

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

枝野フォーラム会長が斉藤国交相に重要課題への対応を要望！

～「コロナ禍からのわずかな光」を「着実な回復と未来へつなぐ」～

11月9日（水）、航空連合政策議員フォーラムの枝野 幸男（えだの ゆきお）会長が、衆議院国土交通委員会で、航空関連産業が見出しつつあるかすかな希望な光を、確かな希望へとつないでいくという観点で、直面する人材不足への対応、航空機燃料税の減免、カーボンニュートラル実現について航空連合の認識を踏まえ、政府に強く要望しました。



枝野幸男
フォーラム会長（衆）

- ・観光立国復活という国家的政策の実現に向け、**航空業界で深刻化する人手不足に対して、国はもっと踏み込んだ対応をとるべき。**
- ・航空会社の財務体質は大きく傷ついており、**航空機燃料税は少なくとも今年度水準の減免を複数年継続すべき。**
- ・航空業界の**カーボンニュートラル実現に向け、国が適切な政策的対応を図るべき。**

- ・喫緊の課題と認識しており、昨日閣議決定した**今年度第2次補正予算案には、グラハンの採用活動や人材育成を支援する事業**を盛り込んだ。
- ・航空業界の厳しい状況は続いており、**公租公課軽減は来年度予算編成過程でも検討**していく。また、**中期的にも同じ姿勢**で進んでいく。
- ・脱炭素化に資するSAF導入・運航方式改善・新技術導入の3アプローチにしっかり取り組み、**航空会社の負担軽減に向けて議論**していく。



斉藤国土交通大臣